



令和2年3月2日

【巻頭言】

今年度、きくA組さんは、3月14日（土）に卒園式を迎えます。

0歳から卒園までに関わった保育士ひとりひとりの愛の結晶であり、乳幼児期の立腰教育の集大成です。立腰と躡の三原則の形の中にある精神性を、愛溢れる保育士の祈り心でどの子にも例外をつくらず、命に溶け込ませて参りました。公正平等であり、毎日の保育を謙虚に振り返り次の日に生かす誠実さこそ清水職員の「志」です。

このような、全職員ひとりひとりの立腰と笑顔の清水スマイルでの関わりは、卒園児さん達の心情風景の懐かしさや故郷的存在となって残り、またここへ帰ってくる循環の契機にもなります。

立腰の子は主体性の根っこが育っていますから、自分を自分でシャンとさせながら、思春期の中学生頃からは自分の個性を正しく発揮していきます。そして迷った時こそここに帰り、故郷清水の空気に触れたいと思ってくれるでしょう。

森信三先生の立腰教育は、一つ一つの小石を積むような丹精さを持って関わる、「愛」そのものであります。皆さんで卒園の歌の歌詞を噛みしめましょう。

「人間形成の原点ここにあり！の感慨を・・・」

一つ一つの小石を積んで（卒園の歌）

作詞 山本 秀大
作曲 石橋 知子



一、 今 一つの日々が終わる

学びの庭の片隅に

思い出が光ってる

どれもみなすばらしい

思い出 思い出

一つ一つの小石を積んで

大きくなろう ルルル・・・

清水の心を抱いて

三、 今 朝日が登るように

あらたな 旅の始まりだ

ここにある礼節を

人生の糧と

しよう しよう

一つ一つの小石を積んで

戻ってこよう ルルル・・・

この懐かしいわが園に

二、 教えるあなたを前にして

今 あらためてありがとう

思い出をありがとう

腰骨を立てます

これからも これからも

一つ一つの小石を積んで

丘を越えよう ルルル・・・

良き清水の友達と

四、 今 最後の時を迎えて

別れの 言葉を言うけれど

過ごしたこの日々を

いついつまでも

忘れない 忘れない

一つ一つの小石を積んで

夢をつかもう ルルル・・・

まだ見ぬ世界へ飛んでいこう

今月の歌

♪ 思い出のアルバム

1. いつのことだか おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
うれしかったこと おもしろかったこと
いつになっても わすれない
2. 一年中を おもいだしてごらん
あんなこと こんなこと あったでしょう
桃のお花も きれいに咲いて
もうすぐ みんなは一年生



♪ うれしいひなまつり

1. 明かりをつけましょ ぼんぼりに
お花をあげましょ 桃の花
五人囃子の笛太鼓
今日は楽しいひなまつり
2. お内裏様とおひな様
二人並んで すまし顔
お嫁にいらした 姉様に
よく似た官女の 白い顔
3. 金の屏風に映る灯を
かすかにゆする 春の風
すこし白酒 めされたか
赤いお顔の右大臣
4. 着物を着替えて 帯締めて
今日はわたしも晴れ姿
春の弥生のこの良き日
何より嬉しいひなまつり

3月の行事

- | | | |
|--------|--------------------------|-------------------|
| 3日(火) | 誕生会・雛祭り会 | 3月生まれのお友達をお祝いします。 |
| 5日(木) | お別れ会 (本園) | |
| 6日(金) | お別れ会 (駅東) | |
| 12日(木) | 避難訓練 | 緊急、災害時の避難の練習をします。 |
| 14日(土) | 第10回 清水保育園卒園式 (本園ホール) | |
| | 第3回 清水博多駅東保育園卒園式 (堅粕公民館) | |
| 19日(木) | 修了日 | |

※3月に予定しておりましたクラス懇談会は、新型コロナウイルス感染予防の為、中止となりました。

詳しくは立看板をご確認いただきますようお願いいたします。